

てんだあ 第61号

『てんだあ』とは英語で「やさしさ」という意味です。 2023年11月

〒294-0813 千葉県南房総市谷向109-1 ^{やむかい} TEL (0470) 29-3729 / FAX (0470) 36-2261
ホームページアドレス <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp>



C

CONTENTS ~主な内容~

- 福祉教育プログラム 2P・3P
- 生活困窮者自立支援事業 4P
- 福祉ニュース 5P
- ボランティアネット(和)ーク 6P
- 善意の寄附、お知らせ 7P・8P

災害の時は、みんなで助け合い！

民生委員・児童委員や地区社協委員、ボランティアを対象に、災害ボランティア養成講座を開催しました。

内容は、災害ボランティアセンターの役割と疑似体験で、災害時には皆で協力してセンターを運営することや、実際に駆け付けたボランティア役になって、センターの流れを体験しました。



ガーベラ

花言葉：「希望・前進」

ふだんのくらしをしあわせに ともに考え取り組む福祉教育プログラムのご紹介

私たちの住む地域には、子供やお年寄り、障がいのある人、子育て中の人、外国人などさまざまな人が暮らしています。社会福祉協議会では、身の回りの人々や地域とのかかわりの中から「ふだんのくらし」に目をむけ、他者の持つ多様な考え方に共感でき、地域で「ともに生きる力」を育むことを目的として、福祉教育の取り組みをすすめています。今回は、市内小・中学校、PTA 家庭教育学級、青年会議所などで地区社会福祉協議会やボランティアの方々と実施した取り組みをご紹介します。

高齢者や障がいのある方について体験するプログラム

加齢による心身の変化を体験する高齢者疑似体験、車イスで生活している人の話や操作を体験する車イス体験、手話を通して交流を図る手話体験を行いました。相手に寄り添うことの大切さ、障がいがある人もない人も暮らしやすい地域について考える機会としています。



文字は読めるかな？ 高齢者疑似体験（白浜小4年）

【感想】
白内障のゴーグルを付けると文字が見づらく、お年寄りの気持が良く分かった。

【感想】
車イスで段差を上がる時、前輪が持ち上がると体が傾いて怖かった。



手話でお話 手話講座（富浦中2年）

【感想】
もっと手話を覚えたい。学校の授業に取り入れて欲しい。



操作は慎重に！ 車イス体験（嶺南小6年）

夏休みに地域のボランティア活動を体験するプログラム

地域で活動しているボランティアの方々と一緒にボランティア活動を体験します。自分が興味のあるボランティア活動を選択し、地域の方と交流し活動への思いなど知る機会としています。今年度は、サロン活動や海岸清掃などのボランティア活動への参加がありました。



みんなで、海岸をきれいに（清掃ボランティア）

【感想】
近所の方もいて、お年寄りの方に沢山話しかけてもらって楽しかった。また参加したい。

【感想】
海岸を清掃するボランティアの人がいることを初めて知りました。私もまた参加したいです。



子供たちの来客に参加者も笑顔（サロンボランティア）

災害について、どんなことができるのかを考えるプログラム

近年、日本各地区で自然災害が発生しています。こうしたことから災害が起こった際に身近な地域で「自分たちに何ができるか」を考える機会として、各学校、青年会議所、地域センター（行政）とともに災害プログラムを実施しました。プログラムでは、実際に災害時に活動したボランティアの話の他、災害に関するゲームや防災グッズづくりなど行いました。



僕たちにもできることって何だろう
(富山学園7年 災害ボランティア講座)

【感想】
災害ボランティア活動をした人の話を聞いて自分たちにも何ができるか考える機会となった。災害が起こった時には、できることから手伝っていきたい。

【感想】
新聞紙で防災グッズが作れるとは知らなかった。スリッパと紙皿を作ったけど家の人にも教えたい。



父兄も一緒に新聞紙でスリッパづくり
(千倉小5年家庭教育学級)



移動が困難な方を避難所に連れていくために
(富山地域センター 防災講座)



身体の不自由な方が避難する大変さを体験
(館山青年会議所 防災講座)

【感想】
高齢者が避難をする時の大変さを知りました。避難する時は、みんなで助け合うことが大事だとわかりました。

世代を超えた様々な交流プログラム

老人クラブ、地区社会福祉協議会など、地域で活動する団体と子供たちとの交流をすすめています。グラウンドゴルフなどのスポーツや地域の高齢者へ年賀状を送るなど様々な形で交流活動が行われています。



グラウンドゴルフで交流
(白浜小4年生と白浜地区社協と
白浜地区老人クラブ)

【感想】
初めて、グラウンドゴルフをやってみたけど楽しかった。お年寄りの方が親切に教えてくれて、また一緒にやりたい。

【感想】
お年寄りの方に手紙を送ったら返事が返ってきて嬉しかった。手紙を通じて交流することも良いなと思った。



郵便局の職員からはがきの書き方を学び高齢者へ郵送
(三芳地区社協)



生活のこと、仕事のこと、 一人で悩まず相談してみませんか？



(生活困窮者自立支援制度のご紹介)

近年の景気低迷にコロナ禍の影響も重なり、働く場をなくしたり、収入が減ったり、家計が苦しいなど生活のことでお悩みはありませんか？

南房総市社会福祉協議会が行っている生活困窮者自立支援制度の相談窓口では、日々の生活のこと、仕事のことなど専門の相談支援員が現状をうかがいながら、解決に向けたお手伝いをしています。

一人で悩まずに、どのようなことでも結構ですので、まずはご相談ください。

家計のやりくりがうまくできない

引きこもった家族が心配

例えばこのようなことで困ってはいませんか？

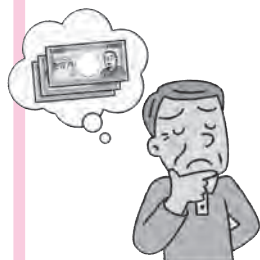
しばらく働いていないから不安

債務が多くて生活が成り立たない



など

◇事例 1 60 代男性 1 人暮らしの場合



定年まであと数年だったが、体調を崩し早期退職。

現在は障害年金を受給している。勤めている時からクレジットカードを利用してリボ払いで返済している状況だった。体調を崩した時には生活費が足りず、さら

に別のカード会社でのクレジットやキャッシング等を利用していたことにより、最近は毎月の返済に追われて困っている。

お金が無く通院もできない。相談できる兄弟はいるが金銭的な支援は頼れないので、今後どうやって生活して行ったら良いのかと相談されました。

相談支援員の対応

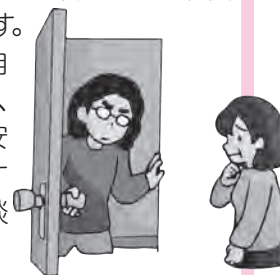
家計改善支援事業を利用し、自分が毎月何にいくら使っているのかなど家計の現状を確認します。

生活の安定・維持のためにどうすべきか、必要があれば滞納や債務について適切な対応ができる専門機関へつなぐなど、相談者が自立した生活が送れるよう支援します。

◇事例 2 60 代夫婦と 30 代息子の 3 人暮らしの場合

夫婦は長年勤めた会社を退職後、年金が受給できる年齢となり、今は 2 人とも年金で生活をしています。息子は高校卒業後、専門学校に進むも途中で辞めて実家に戻り、アルバイトをしても長続きしません。友人との関わりも少なく、家に居ることが多く、親としては今後の息子の生活が心配になっています。

息子に就職活動の話をして「自分で探してみる」など返事はあるが、働いていなかった期間も長く不安があるのか、なかなか行動に移す様子が無く困惑しています。と相談されました。



相談支援員の対応

まずは相談者より本人の生活状況などお話をうかがい、課題を整理します。仕事をすることに不安を感じていればハローワークへの同行や就労支援員と一緒に本人がやりたいことや興味があることを相談しながら、パソコンの操作や履歴書の書き方、面接の練習など就職に向けての支援を行います。

南房総市社会福祉協議会(本所) または、お近くの 福祉サポートセンター へ

受付時間：月曜日から金曜日（祝日除く）午前 9 時から午後 5 時まで

※ご相談は無料で、相談内容の秘密は守ります。

※南房総市が生活困窮者自立支援法に基づき、南房総市社会福祉協議会に委託している相談窓口です。

福祉 ニュース

このコーナーは、地域福祉に関するニュースやお知らせを紹介します。

今回からは皆で昼食を囲むので会食会となり、久しぶりに会った仲間と「何してたの？元気にしてた？」と近況を話し合いながら会話が花が咲きました。

南房総市の管理栄養士を講師に招き、低栄養やフレイルについての講話と簡単な料理のレシピを教えていただき「低栄養を予防する食事のポイントは何ですか？」「毎日、10食品を食べないといけないの？」「このレシピなら簡単に作れるわ」と食事について興味深く質問していました。



フレイルについて勉強中

丸山地区では、丸山地区と南地区に会場を分け「ふれあい小規模模範サロン」を地域の高齢者を対象に開催しました。今回は茶話会と

丸山地区
社協

7月3日

健康長寿の

『食べる』のポイントとは？

～ふれあい小規模模範サロン開催～



愉快的な踊りにこぼれる笑顔

といった感想が聞かれました。コロナ禍で地区社協活動が縮小していますが、少しずつ交流の場を増やしたいと考えています。

富山地区では『地区サロン活動』を行なっています。この活動の目的は、交流や外出することによって高齢の方の意欲向上等につなげることです。軽体操・おしゃべり会・レクリエーション・昼食会など、その地区によって企画の内容は様々です。合戸・宮谷地区の合同サロンでは、近所の方と昼食をとりながら、躍りや小話の披露、どんぐりを使用した手芸教室で楽しみました。参加者から「楽しかった。また開催してほしい」といった

富山地区
社協

7月27日

「近所さんとの

楽しい交流

～合同サロン開催～



落語を披露してくれました

健田地区の高齢者を対象に「高齢者ふれあいの日」を開催しました。管理栄養士の「低栄養予防の食事について」の講話と保健師から「避難所での過ごし方」などの話

千倉地区
社協

9月15日

子供たちとゲームで

楽しいふれあい会

～千倉地区高齢者ふれあいの日～



誰が最初にゴールするかな？

と軽体操で体を動かしました。また、千倉小学校4年生と交流を行い、子供たちの落語の披露やリコーダーの演奏と合唱を聞き、グループに分かれゲームや手遊びで楽しいふれあいの時間を過ごしました。高齢者は普段、子供たちと触れあう機会がないので「また参加したい」「楽しかったよ」との声がありました。児童は「一緒に遊びたい」「またゲーム教えてあげるね」など高齢者と楽しい交流を図っていました。

ボランティア 連協

寺庭ボランティア

千倉地区の「寺庭ボランティア」(代表 込山美恵子さん)を紹介します。
地域の皆さんのお力添えのお陰で7年がたちました。「だれもが明るく、楽しく、健康的な生活ができるように」を目標に現在8名の会員で「寺庭サロン」を開催し活動しています。
お茶を飲みおしゃべりやラジオ体操、ストレッチ、ハーモニカやギター演奏で歌い、折り紙やゲームで脳トレを行いと会員が内容を工夫しながら活動を盛りあげています。
利用者から生活情報や体験談を聞き「なるほど」と感じし、時間があつという間に過ぎます。
月1回の開催ですが、明るい雰囲気の中、利用者と会員がお互いに見守り、一緒に活動を楽しんでいます。
子育て中の方の参加も大歓迎!!
毎月回覧で寺庭地区住民に呼びかけ、第4水曜日午前10時～正午までの2時間、寺庭コミュニティ集会所で開催しています。どうぞ、気軽においでください。



運動も兼ねて大漁節を踊ります

つながっているね。地域の皆さんと

広がれ!

ボランティアの活動をレポート

ボランティアネットワーク

南房総市内では、いろいろな技術や知識を持ったボランティアグループが活動しています。ここでは、ボランティアグループから届きました、活動レポートをご紹介します。

サロン活動を通じて
お年寄りと交流



地域の人達と
交流



夏休み ボランティア体験

市内の小中高校生を対象に、夏休み期間を活用したボランティア体験講座を開催しました。

事前に自宅でボランティアについての心がまえなどを学んだあと、海岸でのごみ拾いやベルマークなどの収集ボランティア、サロン活動など、各自が希望したボランティア団体で活動しました。

体験を通して参加者から、「ボランティアでゴミ拾いをしてきている人がいるから、私たちは綺麗な海で遊ぶことができる。遊んだ後はゴミ拾いをして海を綺麗にしようと思いました」という感想や「ベルマークの収集活動は楽しかったと思っていたが、大変でかつ想像以上の時間と手間がかかることに驚きました」との声が聞かれました。

それぞれが感じたことを今後の学校生活などに活かしてもらえたら嬉しく思っています。

ベルマークを
種類ごとに
仕分けます



みんなで
協力して
海岸をきれいに





赤い羽根共同募金運動に ご協力をお願いいたします

「皆さまから寄せられた募金が地域のチカラとなり地域を支えます」

今年も10月1日から全国一斉に共同募金運動が始まりました。「困ったときはお互いさま」の精神から始まった赤い羽根共同募金。こんな時だからこそ、南房総市を良くするために、困っている人たちを支えるために地域の皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。

赤い羽根共同募金は南房総市の福祉に役立てられています。

- 福祉車両整備事業
- 災害ボランティアセンター資材整備事業
- 紙おむつ給付事業
- 福祉作文コンクール
- 絵本贈呈事業
- 生活支援担い手養成講座
- 社会福祉大会
- 広報紙「てんだぁ」の発行
- ホームページ運営
- 社協広報活動事業



お知らせ

～司法書士が相談に応じます～

無料法律相談

時間／午後1時～午後4時40分

開設日	場 所
11月16日(木)	とみうら元気倶楽部
12月21日(木)	白浜コミュニティセンター
1月18日(木)	三芳農村環境改善センター
2月15日(木)	和田地域福祉センターやすらぎ
3月21日(木)	富山岩井コミュニティセンター

- 事前予約申込：前月の開催日翌日から電話にて予約を受け付けます。
- 定 員：5人（相談はおひとりにつき40分まで）
- そ の 他：調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。弁護士による相談は他の機関を紹介します。

予約・問い合わせ先：南房総市社会福祉協議会(本所)

☎ 29-3729



ゆめを追いかける君へ 教育支援資金

教育支援資金は、低所得世帯を対象に、高校・高専・短大・大学へ進学する際に必要な経費および在学中にかかる諸経費として借りることができる資金です。

教育支援費（授業料等の貸付）

対象となる学校	貸付限度額
高 等 学 校	月額 35,000 円以内 (中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部、専修学校高等課程含む)
短 期 大 学 専 修 学 校 専 門 課 程 高 等 専 門 学 校	月額 60,000 円以内
大 学	月額 65,000 円以内

就学支度費（入学に際し必要な経費の貸付）

対象となる学校	貸付限度額
高等学校、大学、短期大学、専修大学、高等専門学校	500,000 円以内

- ※就学支度費の受付は入学時のみ
 - 本資金は低所得世帯を対象としており、就学する本人が借受人となる貸付制度です。
 - 民生委員・児童委員が継続して相談支援を行います。
 - 他制度(奨学金、母子寡婦福祉資金等)が利用できる場合はそちらが優先になります。
 - 貸付にあたっては審査を行います。
- 問い合わせ先 / お近くの福祉サポートセンターへ



ご意見をお待ちしています！

<回答方法>

- (1) はがき ①ご意見・ご感想②住所③氏名④年齢⑤電話番号を記載の上、南房総市社会福祉協議会(本所)へご送付ください。
 - (2) フォーム (<https://forms.gle/VEdqY6jYbG9z2UR97>) からアンケートにご回答ください。
- ※個人情報はお寄せいただいたご意見等の内容を確認する以外には使用いたしません。



敬称略/令和5年6月～令和5年9月
たくさんのまごころありがとうございます。

善意の寄附

舞花カラオケ愛好会	20,000円
渡部晴美	100,000円
匿名(2件)	29,807円

この寄附金は、本会福祉振興基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立たせていただきます。ありがとうございました。

紙おむつを支給します

南房総市に在住し、在宅で日常生活のほとんどに介護を必要とする方に紙おむつを給付します。

○紙おむつ給付事業

対象者	・1日中ベッド上で過ごされ日常生活のほとんどに介助を要する介護保険法で定められた要介護認定3・4・5の方
	・身体障害者手帳(1・2級)をお持ちの方
品目	・精神障害者保健福祉手帳(1・2・3級)および療育手帳(A・B)をお持ちの方
	紙おむつ 尿取りパット 紙パンツ ※1回あたり税込 5,000円以内ただし要介護3の方は税込 2,500円以内
提出書類	①紙おむつ給付申請書 ※お住いの地区の民生委員・児童委員の意見が必要 ②介護保険証または障害者手帳等の写し

○高齢者介護用品支給事業

対象者	・65歳以上で在宅の要介護認定4・5の方、介護しているご家族 ※要介護高齢者の属する世帯全員の前年度分の市民税が非課税であることが必要
	品目 紙おむつ 尿取りパット 紙パンツ ※1回あたり25,000円以内
提出書類	①高齢者介護用品支給申請書 ②介護保険証の写し ③購入希望先業者の見積書

給付月および申込期限

2月給付の申込は **令和6年 1月10日(水)** まで
申込先/南房総市社会福祉協議会各福祉サポートセンター
問い合わせ/南房総市社会福祉協議会(本所)
または、お近くの福祉サポートセンターへ

みてみて!



facebook.



旧ツイッター

KDDIから寄附

～福祉車両購入費用の一部に～

南房総市千倉地区で「千倉海底線中継所」を運営するKDDI株式会社(南関東総支社)からご寄附をいただきました。

KDDI株式会社では、社員の皆様が行った社会貢献活動をポイント化し、それを元に各種機関や団体に寄附・贈呈を行う「+αプロジェクト」を実施されており、本会への寄附は4回目となります。

7月3日、贈呈式が開かれKDDI株式会社南関東総支社長 大可昌明様から目録が贈呈されました。

お預かりした寄附金は、地域の方が利用する福祉車両購入に活用させていただきます。

この度はありがとうございました。



大可昌明南関東総支社長(中央)と渋谷幸一南房総市社協会長(右)

社会福祉法人 千葉いのちの電話

～第35期電話ボランティア相談員募集～

1. 応募資格

- ①年齢 20歳以上(2023年4月現在)
- ②資格・経験不問
- ③基礎研修講座と宿泊研修に出席できること



2. 研修期間 2024年4月5日～2025年3月22日

3. 受講料 有料

4. 応募開始 8月21日(月)

5. 申込締切 12月20日(水) 当日消印有効(応募用紙あり)

◎問い合わせ・申込先

社会福祉法人千葉いのちの電話事務局

(月～金 9:00～17:00) 電話 043-222-4416

— 発行・編集 —
(各種申込先)

社会福祉法人 南房総市社会福祉協議会

◆本所 南房総市谷向109-1 ☎29-3729 ☎36-2261

- ◆とみうら福祉サポートセンター ☎33-4565
- ◆とみやま福祉サポートセンター ☎57-2926
- ◆みよし福祉サポートセンター ☎36-2276
- ◆しらはま福祉サポートセンター ☎30-5122
- ◆ちくら福祉サポートセンター ☎44-3541
- ◆まるやま福祉サポートセンター ☎46-2200
- ◆わだ福祉サポートセンター ☎47-3390